



始



322
212

速記術講座

後編



日本速記學會

時223
287

速記術講座



3



日本速記學會



第 二 十 六 課

附 鍵 法 の お 話

愈々本編を以て全講義を終ることになりました。この間會員諸氏の熱心なる御勉強振りには一同感激致して居ります。今や進んで速記術の奥堂に參ぜられるのでありますが、この際一寸心附きました點を申し上げ御注意致したいと存じます。本會では日々會員諸氏から色々の御便りを頂いて居りますし（その中には速記文字で書かれた美事なものも澤山あります）添削を乞はれる方々も多數ありますが、なほ此頃でも各速記文字の形狀が所謂自己流に崩れて了ひ、長短の區別が亂雑になつたり、傾斜の間違い等をせられる方が往々ありますが、これは是非御注意願ひたいのであります。詰りさういふ不注意な書き方をされると、後に反譯の際に各自に於て不便を感じられる許りでなく、又誤譯誤記の原因となるからであります。それから又前編第十五課で既に詳しく拗音のお話がしてあるにも拘らずなほ一例を擧げるならば「中」を「チュ」の拗音速記文字一個を以て書き現はすべきに「チ」と「ウ」とで書くといつたやうな方もあります。此等は總て前編乃至中編の精讀及び練習の不充分に起因するのでありますから、諸君に於ては絶えず既習の部分を讀み返し、練習を怠らず徒らに先走りしないやうに氣を付けて下さい。では中編に引續き講義を進めませう。

熱心なる練習は上達の基礎なり。
上達意の如くならざる時は、
未だ熱心の足らざるを思ひ、
更に一層の熱心を以て練習すべし。

前の第二十五課では「送り假名の書き方」に就てお話致しました。本課ではそれに関連する附鍵法のお話を致さうと存じます。附鍵法とは読んで字の如く「鍵を付ける方法」であります。鍵を附ると言つても如何なるものに鍵を付け、又果して鍵を附ければ如何いふ變化が起るかと申しますに、それは前課に述べた「送り假名の省略符號」或は普通文字の初頭を少し曲げ小さな鍵形を付けることでありまして、斯くすることに依り所謂受動(受身)又は敬語を意味する所の「ラレ」とか「ラル」とか「ラルル」を示すことになり、例を擧げて説明すると送り假名「ノデス」に鍵を附ければ「セラルルノデス」となり「ヨリ」に附ければ「セラルルヨリ」、「テ」に附ければ「セラレテ」となる。斯ういつた鹽梅で一々面倒を見ながら「ラレ、ラルル」など、ラ行短縮符の應用をしないで済むといふ極めて便利輕妙な方法がこの附鍵法なのであります。

なほ此處で一言注意すべきは附鍵法は必ずしも送り假名にのみ應用されるのではなく、普通文字にも用ひられるのであります。例へば「ば」に鍵を附して「せらるれば」と讀まれ、普通文字「ん、た、ぬ」等に附鍵法を應用すれば「せられん、せられた、せられぬ、」等と讀まれるのであります。それから又言語中には「サレル」「サル、」等と發音されるものも大分ありますが、之等は詰り「セラレル」「セル、」と殆んど同じ意味でありますから、普通附鍵法を應用しても差支へありません。前後の關係から「サレル」か「セラル、」かは大抵見當がつくものです。程度が進む程頭の働かせ方が大事です。では練習を致ませう。

附鍵法應用例

セラル、ハ	セラル、ノ	(セ)ラル、ノ ア	(セ)ラル、ノ アス	(セ)ラル、ニ	(セ)ラル、ガ
ㄣ	ノ	ノ	ノ	ニ	ガ
(セ)ラレテ	(セ)ラル、	(セ)ラル、ヨ	(セ)ラル、チ	(セ)ラレシ	(セ)ラル、バ
ㄣ	ハ	リ	チ	シ	バ

應用綴字例

信ぜらるゝは	命ぜらるゝの	御下賜ぜらるゝの	訂正せらゝので
放逐せらるゝの です	心開ぜらるゝ が	訪問せられて	調成せらるゝも
侮辱せらるゝ より	加置ぜらるゝを	歸朝せられし	洋行せらるれば
實行せられた	通過せられた	思はれるので	京都に於かせ られて
観望せらるゝよりも樂観せられて運命にまかせらるゝがよいと思はれるのです。			

第二十七課

口語語尾の書き方

送り假名の書き方は既に完全に御了解なつたこと、信じますから、次は口語語尾の書き方に移りませう。御承知の如く吾々が人と話をする、或は演説や講演をすると、必ずその言葉の句切りに於て「何々します」「何々しました」「何々しまして」「何々しませう」など、言ひます。現に此の講義をし乍らも「何々しませう」とか「何々します」と言つて居ります。此のやうに日常類々として使用される口語の語尾を若しも簡略に書き寫すことが出来ればそれは非常に手数を省き、又便利この上もありますまい。その爲に我が速記術では最もよく使用される此等の語尾を次のやうに簡略に書くことに致して居ります。

口語語尾の略符

	マス	マスル	マシタ	マシテ	マセウ
(シ)ー	丨	丿	㇇	㇈	ノ
ラレ セラレ サレラレ	丨	丿	㇇	㇈	ノ
ーレバ ーアレバ	丨	丿	㇇		ノ
ラレ(け)レバ	丨	丿	㇇		ノ

なほ此等の否定には縦字例の示す如く小斜線を用ひます。

延伸法のお話

前頁の略符表の中で第三行目及び四行目では各文字の長さが他のもの、約二倍になつて居りますが、これは詰り延伸法を應用したのでありまして、延伸法を應用する時はその口語略符が接續詞化されることを御注意願ひます。又第二行目及び四行目には前課で説明した附鍵法が應用されて居りますから之を御見落しないやうに願ひます。

〔注意〕 前頁の表を御覧になれば直ぐ解るごころであります、マス「マスル」「マシタ」等は總て前後の關係で「シマス」「シマスル」「シマシタ」も讀むごころが出来るのでありまして、例へば「勉強」を寫して、それに「マス」の略符を附ければ、誰も之を「勉強マス」を讀む者はなく、必ず「勉強シマス」を讀むのでありますが、一寸御注意までに申添へました。次に應用練習を。

イ	㇇	㇈	ノ	㇇
㇇	㇈	ノ	㇇	㇈
㇇	㇈	ノ	㇇	㇈
㇇	㇈	ノ	㇇	㇈
㇇	㇈	ノ	㇇	㇈
寫ます	行きます	頼みました	感じました	断りました
出掛ませう	知りますまい	見ません	思ひませんで	眠りませんで
失敗しません	發行せられま	申されます	洋行せられま	辭退せられま
訪問せられま	辛抱しますれ	徹底します	發奮しました	成功せられま
行かれません	出發せられま	後悔せられま	行かれません	許可せられませ
	せん	すれば	なれば	んでしたなれば

第二十八課

肯定線と否定線

本課では極めて愉快なものを諸君にお目に懸けたいと存じます。これを見ては「成程! これある哉!!」と思はず誰方も速記禮讚の聲を放たずには居られないことゝ信じます。丁度中編で講義された同行音短縮符の時と同様に、いな或はそれ以上にも。

然らばそんな愉快なものとは何であるか? 即ち標題の肯定線と否定線が、それです。その働きは如何? それは丁度私達が「うん」と言ふ時は頭を縦に振り(即ち肯定)「いや」と言ふ時は横に振る(即ち否定)と同じやう至極簡単で、即ち一本の横線を下に置くか上に置くかに依つて、「する」(肯定)ともなり「せず」(否定)ともなりといふ實に痛快極まるものであります。更に此の肯定否定兩線(といつても實は同じ線で、たゞ下にあるか上にあるかだけの差違しかありませんが)に、既に講義を終りました附鍵法及び延伸法が應用され實に目覺ましい活躍をしますので益々以て愉快になるぢやありませんか。

上述の規則を纏めて言ふならば、綴つた語の下に横線を引けば、これを肯定線と名付け肯定の意を表はし、又上部に一線を引けば、これを否定線と稱して否定の意を現はすことになつて居るのであります。

肯定線否定線に就いて注意すべき點を次の頁に掲げませう。

◇**促音と肯否線** 或る一字が肯定詞又はは否定詞に續き、その間に促音ある場合、例へば「察する、達する、發する、決する」「察せず、達せず、發せず、決せず」等の時は矢張り肯否兩線の應用が出来るのでありまして、「サ」の下或は上に肯否兩線の使ひ分けをやれば、即ち「察する」又は「察せず」と讀まれるのであります。

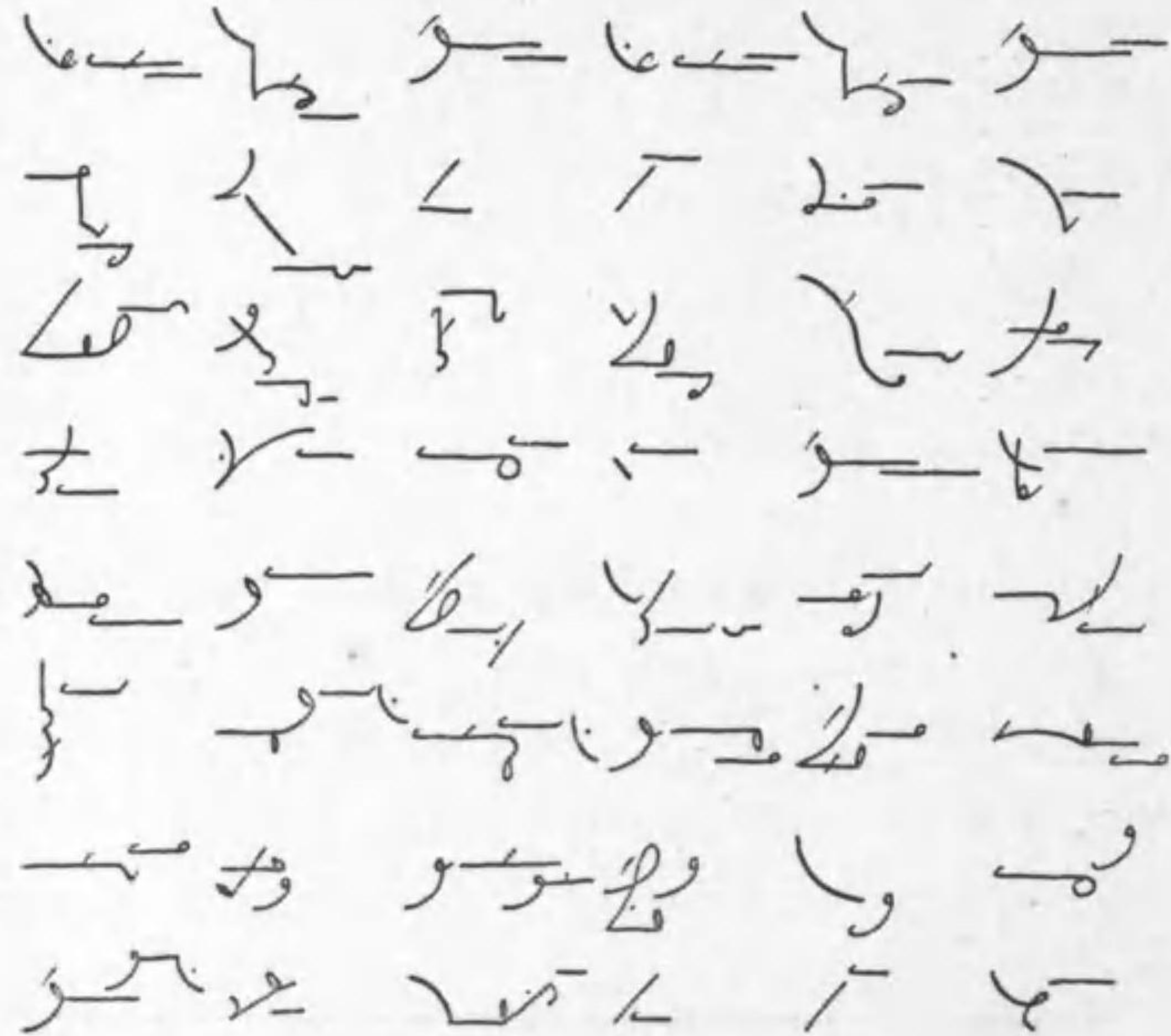
◇**あらず、ならず、からず、否定線**「セズ」を「狂者に」とか「我にも」とかに附すれば、これは必ず「あらず」と讀まれ「複雑」とか「賢明」とかに附すれば「ならず」、又「暑」「寒」等に附せる否定線は常に「からず」と讀まれることは常識から推しても解りませうが御注意下さい。なほ延伸法の利用に依つて「あらざれば」「ならざれば」「からざれば」等と變化することも出来ます。

◇**肯否兩線の變化例** 次に肯定線及び否定線の變化例を掲げませう。次の表中記號の下部に記したのは、肯定線として用いた場合、上部に記したのは否定線として使用した場合であることは申すまでもありません。

否定	セズ	セラズ	セザレバ	セラレザレバ	セヌ
肯定	スル	セラル	スレバ	セラルレバ	シタ
否定	セラレヌ	(セ)ザリキ	(セ)ラレザリキ	(セ)ザリシ	(セ)ラレザリシ
肯定	ラレタ	サレキ	セラレキ	サレシ	セラレシ
否定	(セ)ザラン	(セ)ラレザラン	セズンバ	セラレズンバ	
肯定	サレン	セラレン	—レ	—レ	

速記ではどの規則といつて大切でないといふことはありませんが、この應用範圍の廣い肯否線應用には充分御習熟下さい。

肯否線應用綴字例



勉強する	發明する	成功する	勉強せし	發明せし	成功せし
喫煙するので	散歩するには	逢する	逢せし	過ぎす	論ぜし
讀書せざるし	失敗するよりは	注意せしして	遠足するので	浪費せざるに	速記するを
喝采せらる	授與せらる	許可せられず	誤せられず	成功すれば	發奮せざれば
出席せらるれば	接せられざれば	投書するんだ	反對されんに	禁止せざらん	改遣せられん
追従せられざらん	覺醒せずんば	教育せられずんば	宣告されし	遭遇せざりし	赴かせられし
講演せられざりし	決定されし	信仰されしが	承諾せざりし	欲せられし	許可せられざりし
成功せざりしかば	移轉した	落第せし	逢せられた	逢せられぬ	平和ならず

第二十九課

速記上数字の書き方

速記術は一名を「言葉の寫眞」といふ位あつて、凡そ如何なる言語と雖も、その儘一言半句も誤なく書き寫すことを以て其の本領として居るものでありますが、時に速記の速力が發音の速度に伴ひ得ずして言語中の或る語句又は一二の發音を書き漏らしたりすることがないとも限りません。然し萬一さういふ事があつても多くの場合言語文章中前後の關係に依つて其の書き漏らした部分も推量し得らるゝものであります。然るに此處に絶對推量し得ないものがあります。それは即ち數字であつて、數字は普通の言語と異り全然他との聯絡を缺いて居りますから、これを類推することは先づ不可能であり、又書き誤つたり位取り等を間違へ大問題を惹き起したり或は大損害を招いたりする原因となりますから、數字の大切なことは言ふ迄もありませんが速記上に於ては殊に正確に書くことを注意し、斷じて一點一劃も之を誤ることのないやう常に心掛けねばならぬのであります。

今迄の多くの速記術に於ては、夫々の數字に對して特殊の速記符號を與へたり、十位とか百位とかを示す數位標なぞいふものを制定したりしてありましたが、それでは却つて煩はしく感心の出来ない方法でありますから、本會の速記術には決して間

違ひの心配がない日常使用され、而も簡単明瞭なる普通の數字
 即ち「123456789」をその儘使用することにして居ります。但し
 「一億」といふいふやうな場合 100,000,000 と「0」を八個もつけ
 てゐるやうでは到底早く書けるものではありませんから、少し
 多い數は次の實例のやうに書くのであります（數字の次の符號
 は數位を示す略字です）。

尙數字の書き方に關聯して年月日、價格等の書き方も次に實
 例を以て示しましたから、諸君もその應用の仕方を御理解下さ
 い。では實例を御目にかけます。

213ノ4ノ56ヘ7ノ8ノ97 = 23456ヘ7897
 4.5ノ 56ノ 7ノ 5ノ 10ノ 1.2.3
 15ノ 5-3ノ 4ノ 66 1.2.3.4.5
 1.12ノ 9-1ノ 11ノ 76 2/3 4/3 3/2
 31ノ 5-17ノ 35ノ 22ノ 5ノ 3ノ 5ノ 5ノ

二億三千四百五十六萬七千八百九十七（「=」の左の書き方で右の書き方でよし）
 四五千 五十六億 七千萬 五百萬 十萬 一ツ二ツ三ツ
 昭和五年五月三日午後四時六分 第一 第二 第三 第四 第五
 大正十二年九月一日午前十一時七分 二分の三 四分の三 三分の二
 明治三十一年五月十七日 三十五圓二十二錢五厘 三萬分の五 五%

序を以てこゝで御注意申しますが、數字の速記に用ひられる略字は次の課の略字と同じもの
 もありますがそれは常識を以て容易に區別がつくものです。尙上の實例に就ては一々説明を致
 しません。譯文を對照し充分御研究下さい。

第三十課

略字のお話

益々講義は進んで参りまして本課では略字のお話をするこ
 になつて居ります。元來略字といふのは日常最も多く使用され
 るものに對して普通の速記文字で綴れば三字も四字も或はそれ
 以上も綴り合せなければならぬのを僅かに一二字書く位の極め
 て簡略な符號を以てし速記能率を彌が上にも高めるものを我々
 は速記上の略字と呼んで居ります。斯ういふと略字は誠に便利
 なものであつて、略字を盛んに使用さへすれば何の造作もなく
 速記が出来るだらうといふやうに一考へられ、又實際或る式
 の速記術などでは實に夥だしい數の略字を制定したのもあり
 ますが、それは實のところ皮相的な考へであつて、餘り多數の
 略字があつては却つて記憶が困難であり、突差の場合にスラス
 ラ思ひ出せるものではなく、又錯雜紛糾して到底實際上に於て
 は役に立たず唯弊害があるのみであります。故に本會の速記に
 於てはその數を眞に必要なだけに制限し、略字としての眞面目
 を發揮せしめ充分の働きが出来るやうにしてあります。

次の頁に略字の一覽表を掲げましたから、これだけは能く御
 記憶願ひます。なほ略字は第二十五課の後字とは異り、他の綴
 語とは離して書きます。尙略字一覽表中の最後の二十個は七十
 一頁に示す略字變化例に準じて變化が出来ます。

第三十一課

各種省略法のお話

元來言語文章といふものは總て連絡があり系統の立つて居るものでありますから、その中のある言葉又は句を省略して之を明記しなくとも推察想像の出来る場合が多くあります。例へば「首尾よく一高へ〇〇した」と書けば其の省略された言葉が「入學」であることは誰にも判断出来る譯で、斯ういふ風に省略法は大變便利な方法であります。が、「何時も柳の下に鱒は居ない」と同じく、何でも無暗に省略して置いて後で判断すればよいなど、いふ蟲のいゝ考へを起してはなりません。例へば「父は手紙を〇〇しました」と書けば其の省略された言葉が「書き」であつたか「読み」であつたか「破り」であつたか「捨て」であつたか、何れにしても意味が非常に違つて來て全體の文意を誤るやうな事が生じます。

故に省略法は便利であり又必要な方法であります。これが應用の程度を誤ると連記能率は上つても、いざ反譯といふ段取になつて誤譯が續出したりして却つて有害な結果となります。丁度藥品でいふと劇藥のやうなもので非常に奏効顯著であると同時に、その用量を誤れば飛んだ失態が生ずるのでありますから、以下説く所をよく玩味して下さい。

此の省略法は應用の種類に依つて數種に分けられますが最も効果的のものを次に説明致しませう。

1 口語略符應用省略法

唯今例に擧げたのがこの分類に屬するもので、詰り「マス」「マシタ」「マセウ」「マセヌ」等の口語略符を應用するものであります。後で容易く判讀出来るやうな言葉(次の例の括弧内の如き言葉)を略して前の語の次に直ちに口語略符或はそれに準ずるものを書くといふ方法であります。

寒いので水が(凍り)ました。

相談が仲々(纏り)ません。

首尾よく大學を(卒業)した。

御心配をかけて(濟み)ません。

この夏は富士山へ(登り)ませう。

彼は急遽任地に(赴き)たり。

かうして例を擧げて行くと殆んど際限がありませんから、この位にして置きますが、この方法は便利であるため、つい書く時は後で思ひ出せる積りでどんどん省略して行き易いですが、既に述べたやうに飛んだ間違ひが出來たりしますから、よく頭を働かし誤解の生じないやうにすることが肝心であります。要するに頭腦明晰にして記憶力の強い人には省略法は實に鬼に金棒であります。その用ひ方を誤り又は濫用しないやうに常に心掛けることが大切であります。

2 段落標應用省略法

常に人口に膾炙してある格言、成語、歌謠等は段落標を應用して之を省略する方法があります。それはどうするかといふに以

上の如きものは何人も熟知して居る爲め、その前半を耳にすれば既に後半は聞かずしても解ります。例へば「君が代は千代に八千代に」といへば「さゝれ石の巖となりて苔のむすまで」は直ちに推測出来るのであります。故に此等のものを速記する時は前半のみを書き後半は之を全然省略し、唯その代りに段落標を應用してさへ置けばよいのであります。但し段落標(×)は普通には文章の右側下方に記すことになつてゐますが、之を省略符として使用する時は右側上方に記して、その部分の省略されて居るのを示すことになつて居ります。次の例中括弧内の語句は省略しても差支ないものであります。

精神一到[×](何事か成らざらん)

健全なる精神は(健全なる身體に宿る)

百聞は[×](一見に如かず)

身體髮膚之を父母に受く[×](敢て毀傷せざるは孝の始也)

萬綠叢中[×](紅一點)

天上天下[×](唯我獨尊)

何をくよくよ[×](川端柳水の流れを見て暮す)

人間萬事[×](塞翁が馬)

3 頭音應用省略法

これは有名な地名人名又は或る談話或は演説中に繰返されるそれらの固有名詞及び單語等を其の頭初の音一二を書き記して其の餘は全部省略する方法でありますから極めて簡単に、冗々しい説明は不必要であります。唯それが省略法を應用してあ

るといふ目印に下方に横線、所謂アンダーラインを引いておけば一見して省略せられたものであることが解ります。例へば「ワシントン」と書くには「ワシ」と記して其の下部に一線を引き、「織田信長」と綴るには「オダ」と書いて其の下に矢張アンダーラインをひき、「普通選舉」を略すには「フツ」と記して其の下に横線を附けるが如きであります。

4 假名漢字應用省略法

これは今述べた頭音應用の省略法と同一の方法で、たゞ速記文字で書く代りに適宜、假名或は漢字を用ひるのであつて、例へていへば「リンコルン」と書くに、單に片假名の「リ」一字を記して他は略し、或は「西園寺公望」と書くに、單に「西」の一字を記して他は略するが如きものであります。但し漢字を應用する時は餘り劃の多いものは避けた方が得策であります。先づ省略法も大體こんなもので、他はその場に臨んで適宜の方法を應用すればよいのです。兎も角あまり規則にばかり拘泥せず可成ゆとりを常に持ち常に諸君の明敏な頭を適當に働かせて下さい。

愈々本課を以て速記術の全講義を終りました。今後の成績は唯諸氏の御努力御練習に依るのでありますから、尙一層の御勉勵を切に望む次第であります。

次に各種の速記實例を速記文と普通文と對照して掲げました。普通文中の小さな數字は勿論速記文の行數を示したものであります。諸氏に於ても此等をよく比較研究され、又實際に筆をとつて練習して下さい。

Handwritten shorthand notes on page 76, consisting of approximately 15 lines of cursive symbols and characters.

演説速記の實例

阿哲の高峰矢の峯の麓で、日々鍬と鎌を握つて土に親しむ私
 が今日諸君と見え平素抱懷して居る所信の一端を茲に披歴し得
 ることは誠に不肖終生の欣快であります。

シセロは嘗て、「田園は羅馬の花である。羅馬の名譽である。
 且つ羅馬の勢力である」と絶叫した。この言葉は版圖三大洲に
 跨つて不滅の國と謳はれた羅馬大帝國も、その中心勢力は田園
 にありしことを喝破したものであつて、田園の衰亡と諸共に、
 さしもの羅馬も遂に内部より崩壞して、あはれ一片の榮華を史
 上に留めたのであります。私は建國以來三千年、農業を以て立
 國の大本となす、我が國に於て、眞に農村は日本の花であり、
 日本の名譽であり、且つ日本の勢力であつて、農村の振否が日
 東帝國の興亡を左右すること、蓋し羅馬と同一なりと信ずるの
 であります。

永久に花であり、名譽であり、且つ勢力であらねばならない
 我が國の農村は、近時思想の激變と十八世紀の末より英國に起
 つた産業革命との鐵蹄に蹂躪せられて荒廢その極に達した。即
 ち農村の淳朴なる美風、剛健なる思想は輕佻華美なる都會のそ
 れに侵蝕せられ地主對小作の軋轢は益々激烈となつて同類相食
 むの醜態を演じてゐます。朝に星を載き、夕に月を踏んで、而
 も粗衣粗食、終日働いても働いても尙收支相償はずといふ、誠
 に農村は慘な現状であつて、今や我が郷土は起つか、倒れるか、
 此の一大危機に直面したのであります。

Handwritten shorthand notes on page 78, consisting of several lines of cursive symbols and numbers.

練習問題

- (1) 日光田母澤御用邸に御遊覧中であつた聖上 皇后兩陛下には本日午前九時五分日光驛御發車、午後零時十五分上野驛へ御召列車で御機嫌麗しく還幸啓遊ばれた。
- (2) 去る日曜日の朝七時信州松本の近くで日本アルプス連峯の一なる鎗ヶ嶽は突然噴火し、數哩遠方まで感じた大鳴動を伴つた。多量の熔岩と煤煙を噴出し山麓の諸地方殊に豊島には非常に降灰した。諸川は變色し且つ桑葉に降灰したから、目下四眠たる同地養蠶に大障害を與へるであらう。午後には灰と煤煙の噴出は減したが山の鳴動は尚ほ止まない。
- (3) 天氣豫報 今晚は北東の風で曇り小雨模様、明日は北の風曇り後晴。

新聞通信速記の實例

【ヴェニス六日發】 當地に開催せられた國際商業會議は四日間に亘り會議を續け國際補助語**エスペラント**を使用して非常な好成績を収めた。會議に出席したるものは二十一箇國二百箇所の商業會議所代表者と銀行代表者等で日本及び支那の代表者もこれに参加した。同會議は各商業學校に於て**エスペラント**語を教授することを勸告する決議案を可決した。

【静岡十五日發】 最近贋造紙幣又もや當地にて發見され、司法官及び警察の盡力に依り、右贋造紙幣を行使した松本才三郎前印刷局の雇で右紙幣を贋造した田中謙信及び其他十四名の連累者は昨日捕縛されて静岡檢事局に送られた。

今度の紙幣贋造者達はレンズの七百圓もする精巧な寫眞機を使用し貳萬五千圓の紙幣を贋造したのだが、幸にも贋造紙幣の多數を行使せぬうちに逮捕されたものだといふ。

(4) 臺灣に於る果樹栽培は總督府が特に之れを奨励して居る。最近臺灣より積出す柑橘類の品質改良といふ點を非常に重大視し、總ての果樹園を嚴重に監督して、目下柑橘類に大損害を與へて居る害蟲驅除に甚大の注意を拂つて居る。

(5) 昨日西部及び北部日本を吹きまくつた大暴風雨の爲めに被害は頗る廣汎の地域に亘つた。殊に暴風雨の中心であつた大阪と名古屋間は其の被害特に甚だしく、殊中名古屋附近は暴風雨帯の中心だつたので非常な損害を蒙つた。

電話及び電信は殆ど全部不通となり、汽車の運轉も非常に阻害された。家屋の倒壊したものも多數で被害地方では死傷者も少くないけれども、電信電話不通の爲め正確な數は尚ほ不明である。東京と静岡以西との電信電話は全く不通となり、その復舊は今の處見込が立たない。

Handwritten shorthand notes on page 80, consisting of approximately 12 lines of cursive symbols.

段落符及び評語標

段落	故に	何となれば	前と同じ	未完	承前	前略
X	∴	∴	≡	⊖	⊖	⊖
後略	笑聲	拍手	ヒヤヒヤ	ノーノー	謹聴	完了
→	m	()	c	~	~	⊗

ラヂオ速記の實例 (ニュースと講座)

【熱海電話】東京灣汽船會社汽船加茂丸が東京から熱海に向け航行中昨日午前零時頃四十歳前後の二等船客が相模灘に投身いたしました。書置がありますが身許不明です。熱海署では沿岸各警察に通知して死體搜索中でありませう。

美容講座 御婦人が一番美しく見えるのは夏でございます。浴衣程御婦人の曲線美姿態美を發揮し、御婦人を綺麗に見せるものはございません。それは浴衣が藍一色の單彩である爲めに薄化粧した御婦人の顔を、くつきり浮きたらせるからでございます。浴衣を着た時の御婦人の顔は、人形の美さでなく生々として非常に魅力のあるものでございます。で、夏は顔もお髪もこつてりしないやう、何處となくすつきり見える垢抜けの仕方が必要です。さうかといつて陰氣な感じは禁物ですから頬紅は白粉をつける前に塗ると生々した感じを添へます。口紅は毒々しい紅さを避け、濃化粧の時以外は紅をさした事が分るか分らぬ程度にして、少し唇の紅さを増す位にした方がよろでございます。

外國語の取扱ひ方に就て

會員諸氏から御質問がよくありますので此處で一才外國語は如何に書き寫すべきかをお話し申しませう、即ち演者は往々英語とか獨逸語とか佛蘭西語等をその演説又は講演中に挿むことがありますが、此等の外國語には我が日本語にないやうな發音もあり大分厄介なものです、之を寫すには耳に響いた通りを片假名で書いておくのが一番好いやうに思はれます。

河村瑞軒は徳川時代に、あり餘る才智で一代に巨萬の富を積
 んだ人ですが、或る時箱根の山奥に、樺の大木が林立し
 てゐるのを見て何うかしてこれを手に入れたいものと、官へ願
 つて出ました。この願を聞いた役人達は笑ひ乍ら
 「あれはたとへ伐り倒したところが深山のことで山出しの方法
 がない爲めそのまゝになつてゐるのだ。」
 と瑞軒の願ひ出を寧ろ馬鹿にして鼻の先であしらひました。
 ところがこれを聞いた瑞軒は
 「いや決してそれは御心配なく、伐り出しをお許し下されば代
 金は前納いたします」と言ふので、そんなら勝手にやつて見ろ
 と、うづつかり許して了ひました。
 瑞軒はその秋から澤山の樵夫を入れて樺を伐り倒させ冬に入
 ると共に今度は大勢の人足を雇つて、降り積つた雪を谷底へ搔
 き落させ、その雪が凍りついた冬の真中になつて、伐り倒した
 樺の樹をスケートのやうに雪滑りで谷口へと押し出しました。そ
 こで谷口に堤防を築いておいて、春になつて山々谷々の雪が一
 時に溶け始めた時、その堤防を一時に切つて落しましたから、さ
 しもの巨材もどつとばかりに川下に流し出されて難なく山出し
 は終つたのであります。
 これを見た役人達は「成程」と瑞軒の智慧に驚いたが、然し約
 束は約束です。今更苦情のつけ様もなく見す見す利益は瑞軒の
 物となりました。

講談速記の實例

河村瑞軒は徳川時代に、あり餘る才智で一代に巨萬の富を積
 んだ人ですが、或る時箱根の山奥に、樺の大木が林立し
 てゐるのを見て何うかしてこれを手に入れたいものと、官へ願
 つて出ました。この願を聞いた役人達は笑ひ乍ら

「あれはたとへ伐り倒したところが深山のことで山出しの方法
 がない爲めそのまゝになつてゐるのだ。」

と瑞軒の願ひ出を寧ろ馬鹿にして鼻の先であしらひました。

ところがこれを聞いた瑞軒は

「いや決してそれは御心配なく、伐り出しをお許し下されば代
 金は前納いたします」と言ふので、そんなら勝手にやつて見ろ
 と、うづつかり許して了ひました。

瑞軒はその秋から澤山の樵夫を入れて樺を伐り倒させ冬に入
 ると共に今度は大勢の人足を雇つて、降り積つた雪を谷底へ搔
 き落させ、その雪が凍りついた冬の真中になつて、伐り倒した
 樺の樹をスケートのやうに雪滑りで谷口へと押し出しました。そ
 こで谷口に堤防を築いておいて、春になつて山々谷々の雪が一
 時に溶け始めた時、その堤防を一時に切つて落しましたから、さ
 しもの巨材もどつとばかりに川下に流し出されて難なく山出し
 は終つたのであります。

これを見た役人達は「成程」と瑞軒の智慧に驚いたが、然し約
 束は約束です。今更苦情のつけ様もなく見す見す利益は瑞軒の
 物となりました。

Handwritten shorthand notes on page 84, consisting of several lines of stylized symbols and characters.

速記文字で書いた手紙の一例

ゆふ様

もう此處へ來てから丁度一週間になります。

今日は朝から小雨の日です。氣にかけてゐたあなたへのおとづれ、これを今日は出さうと机に向ひましたの。この手紙を書いてゐる小さな卓子は開かれた小窓によつて居ります。窓の向ふは落葉松の林です。白樺! 若き人の愁ひそのものゝ姿のやうです。黄昏、うす月空に煙る頃、あの靜かに仄暗い森の中にわけ入つて、白き幹につとよれば、あはれに故もなく、涙ぐまれてなりませんの。

その林を越えて向ふが淺間山です。小雨の空にほのかに雄大な姿が見えます。自然の作つた偉大な香煙は不斷の煙を空へ捧げてゐます。

空に焚く不斷の香や淺間山

名吟でせう——その山麓の本立の間にちらほらと赤い瓦の山莊があちこちに見えます。いらつしやいな。このおたより書いて居たら、なほさらお懐しさ増して……朝早く上野をお立ちになれば午後一時頃には山麓の驛へつきますの。お迎ひに私妹と一緒に参ります故、ね、きつといらして頂戴。お待ちして居ります。

小雨の日淺間山麓にて

葉子

卒業生諸氏に寄す

月日の経つのは誠に早いもので、願れば諸氏が速記術學習を志され、本會に御入會になつて早くも三箇月、日々本講座を師とし友とせられて或は研究に或は練習に御精勵なされた甲斐あつて今茲に此の高速時代に於て太陽の如く燦として輝く能率の具象化たる速記術を完全に修得せられたことは我等一同の欣快措く能はぬところであります。茲に謹んで我等が滿腔の祝意を表すると共に希望に輝やく諸氏の前途を祝福せずには居られません。

今や講を閉づるに際して諸氏が今後の練習法その他に就て一言申し上げお別れの言葉としたいと存じます。

本講座三編を充分御精讀御練習なされた方は速記術の一般知識を餘す處なく御修得になり立派に奥傳級の實力を得られ、普通の速記をなさるにはもう立派なものであります。殊に今後専門の速記者として立たれる志望の方は、再三御注意申し上げました如く速記は單に符號や規則を覺へればそれで出来るものではなく、此等の基礎の上に撓まず倦まず不斷の練習と努力に依つて圓滿無碍なる熟達の境地に到達するやう常に心懸けなければなりません。その爲めには今後とも本講座を座右の友とし反覆熟讀練習を怠らない覺悟が必要であります。一人前の速記者はどれ位の速度で書くかといふに、假名交り普通文にて十分

間に二千五百字を書き得る程度にならなければ一人前とはいへませんが、實際は十分間に二千二百字の速度に達し之を誤なく反譯出来る實力がつけば、もう大抵のものは樂に速記することが出来るものであります。速記の練習は十分間千二百字位までは割合に進歩が早く、千七百字前後までは稍々上達が遅いやうに思はれるもので、更に二千字内外となると餘程練習しても殆んど進歩がないやうに思へますが、その時が肝要です。そこで挫折してはいけません。一意専心練習さへすれば必ず上達するに極つてゐる。いくら勉強しても捗々しくないならそれは努力が足りないのである。たい勉強と練習!! それは總てを解決してくれることを忘れてはなりません。

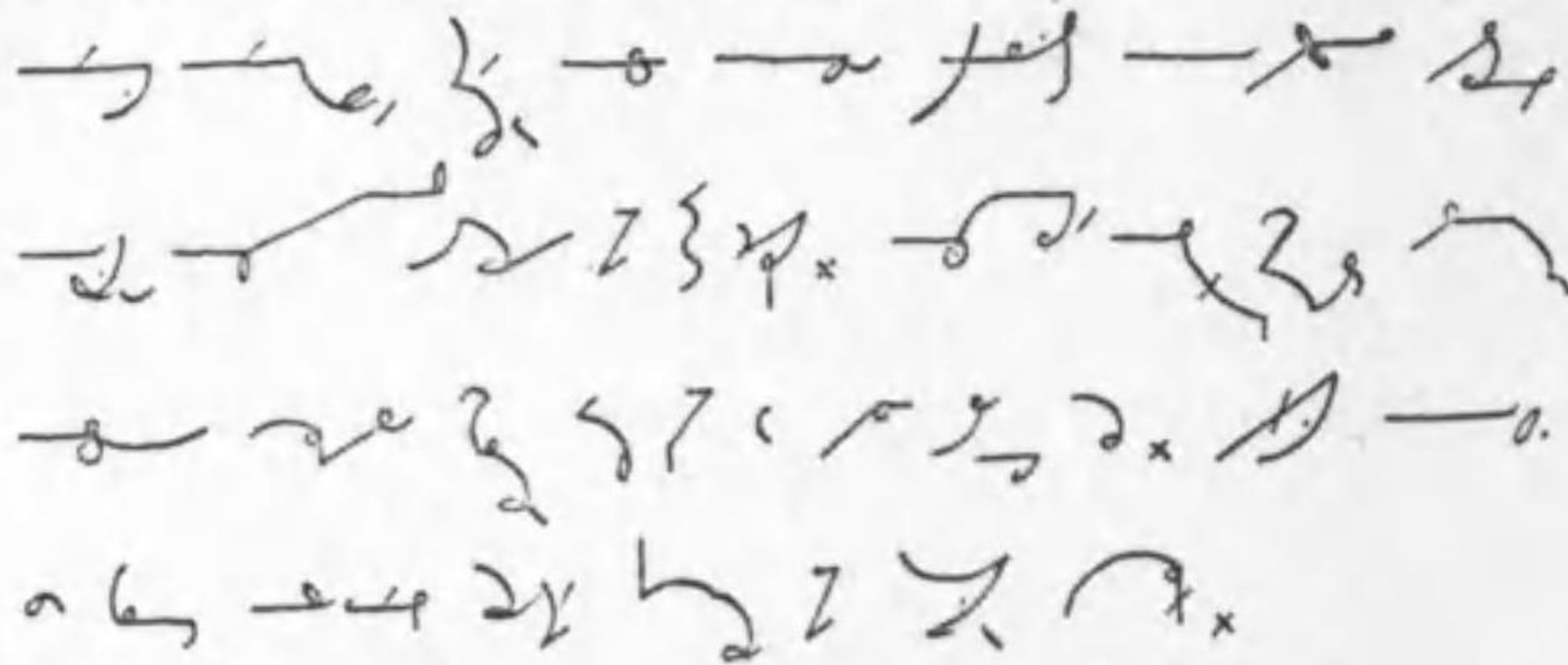
も一つ御注意すべき大切な事があります。それはどんなに早く書けるやうになつても——宜しいですか、この處が大切ですよ——どんなに早く書けるやうになつても、それが後で讀めないとか、間違ひなく反譯することが出来ないやうでは何にもなりません。即ち速かに書くと同時に、正確なる反譯が出来るやうにすることが大事であります。又この正確なる反譯が出来る爲めには常に社會の動きに注意し一般の讀書を怠らず所謂圓滿なる常識を養はねばなりません。斯くの如くして倦まず努力すれば諸氏は押しも押されもせぬ立派な速記者となる事が出来るのみならず、一個の立派な社會人として成功も榮達も期せずして諸氏のものでもあります。

お別れするに當つて諸氏の健康と成功と幸福とを心から祈り上げます。

322
212

試 験 問 題

1、機械文明の發達につれて社會のもつ速度は全く急速になつた。それは全く時間と空間とを征服しつゝある。手近な例を取つて云へば、現在のところ東京大阪間の急行列車は十二時間であるが、その間を飛行機で飛べば二時間半である更に寫真電送機に依れば三分四十五秒である。これは一例であるが現代の社會はあらゆる點に於て速度を加へつゝある。この所謂速力時代に於て速記の必要を説くが如きは即ち愚の骨頂であるを云はねばならぬ。

2、


受験の仕方と注意

- (1) 本會の卒業證書は諸氏が本會所定の學業を完全に終了せられ處世上必須の武器たる速記術を修得されたることを證するものにして諸氏が輝かしき履歴を更に光輝あらしむるものとす。
- (2) 卒業證書を希望する會員諸氏は上記の試験問題に對する答案を提出せらるべし。受験期日は講座後編に受取られてより三ヶ月以内とす。その期間中は何時にてもよし。
- (3) 答案(第一問は速記文字にて認め第二問は普通文字に反譯すべし)は必ず明瞭に書し、受験料金一圓を小爲替にて添附の上、本會専務理事梶静洲先生宛親展書にて差出さるべし。但し受験料は振替にて本會宛に拂ひ込まるとも妨げず。此場合は其旨答案に明記のこゝ。
- (4) 答案を本會に於て嚴重審査の上、六十點以上の成績ある者を及第者となし、本會所定の卒業證書を授與す。
- (5) 萬一成績六十點に満たざる場合は、其旨通知するを以て更に研究の上再試験を受くることを得。その場合は更に受験料を納付するに及ばず。
- (6) 本會卒業證書所有者は永く本會々友として、今後研究上の指導、就職上の斡旋及び相談、その他種々の便宜を受くることを得。

◇ 有 所 權 版 ◇

昭和四年六月五日 印刷
昭和四年六月八日 發行

(非賣品)

著者 日本速記學會

代 表 梶 彰

發行者 梶 彰

東京府澁谷町青葉二〇番地

印刷所 東京市麹町區紀尾井町三番地
張印刷株式會社町出張所

發行所 東京・澁谷・青葉
日本速記學會
總發東京七七七五番

入會御希望の方には會則を送呈し
ます本會宛て御申込下さい

特223

287



Table with multiple columns of text, likely a title page or a list of contents. The text is faint and difficult to read, but appears to be organized in a structured format.

終